

第3回 神代川かわまちづくり八百万神の会 (神代川かわまちづくり推進協議会)

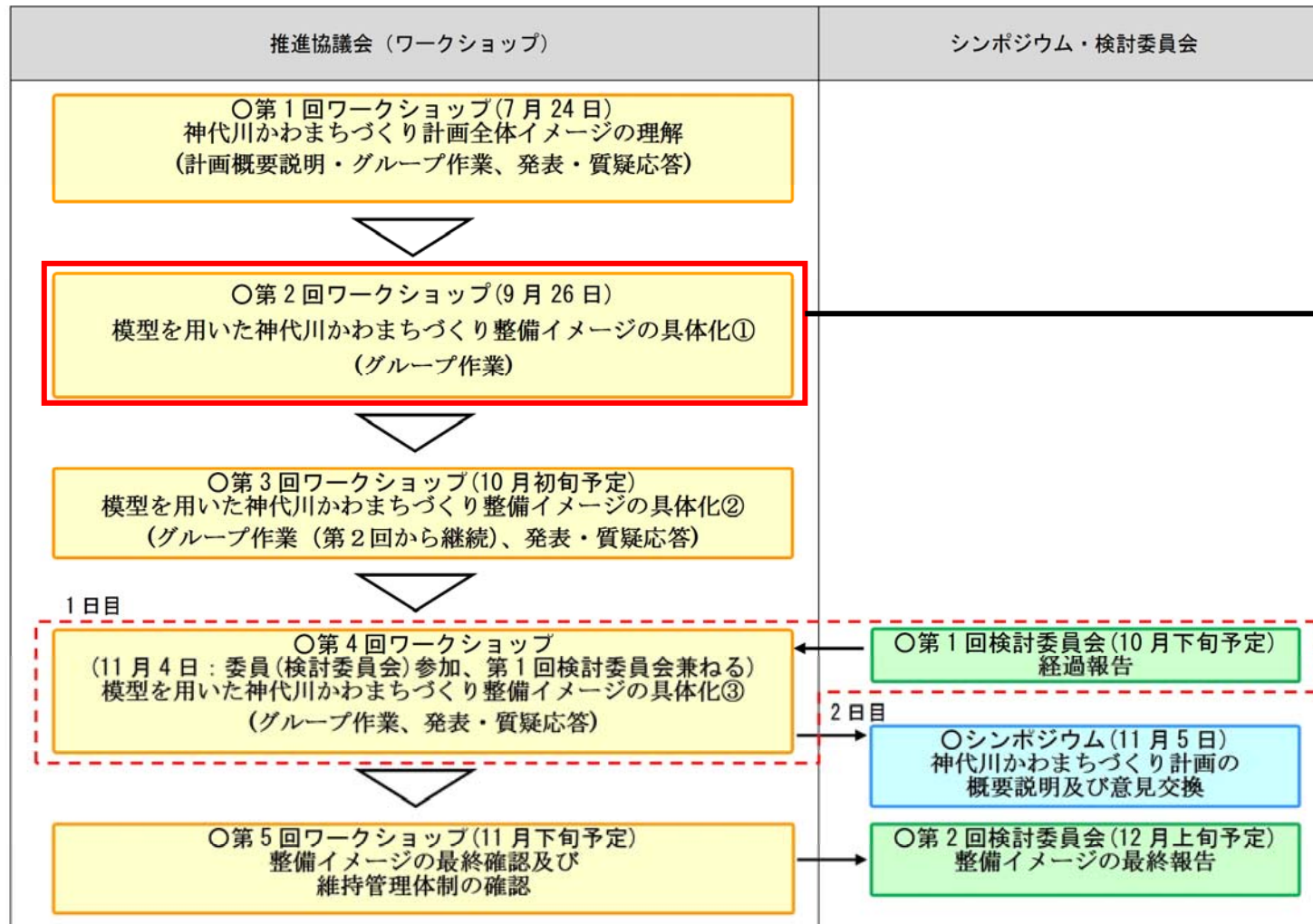
第2回 WS 資料

1. 第2回WSの流れ P 1
2. 第1回WS結果報告 P 2
3. 第1回WSに対する検討課題 P 4
4. 第2回WS・第3回WS検討内容 . . . P 5
5. グループ作業資料
 - ・天真名井周辺 (1班) P 6
 - ・皇子橋周辺 (2班) P 8
 - ・くしふる周辺 (3班) P 10
 - ・バスセンター周辺(4班) P 12

平成26年9月26日(金)

■ワークショップの進め方について

ワークショップ全体の流れ



第2回ワークショップの流れ

次第	内容	所要時間
1. ワークショップの進め方	①ワークショップ全体の流れについて ②第1回ワークショップの結果について ③第2回ワークショップの内容について	19:00～19:20 (20分)
2. グループ作業内容について	①島谷先生からのアドバイス	19:20～19:35 (15分)
3. グループ作業	天真名井・皇子橋周辺	19:35～20:45 (70分) 1.メンバー確認:5分 2.代表者決定:5分 3.グループ作業:60分
	くしふる周辺・バスセンター周辺	
4. まとめ・次回ワークショップについて	①第3回ワークショップについて	20:45～21:00 (15分)






第1回神代川ワークショップ開催報告

第1回神代川ワークショップ

●参加者：42名(委員19名、地元住民17名、事務局6名)

●場所：西臼杵支庁 大会議室

●日時：平成26年7月24日(木)

プログラム	内容	開催風景	
<p>① ワークショップの進め方 19:00~19:10</p>	<p>○今年度ワークショップ全体の流れ及び第1回ワークショップの内容について説明を行った。</p>	<p>■事務局説明時の様子</p> 	
<p>② 神代川かわまちづくり計画について 19:10~19:20</p>	<p>○神代川かわまちづくり計画の目的及び内容について計画書及び概要版を用いて、神代川かわまちづくり計画の説明を行った。</p>	<p>■グループ作業の様子</p> 	
<p>③ グループ作業 19:20~20:10</p>	<p>○4班に分かれて「計画の全体イメージ」と「班毎のテーマ」について意見交換・整理を行った。 【各班のテーマ】 1班：天真名井周辺整備 2班：皇子橋周辺整備 3班：天真名井周辺・神々のゾーン 4班：皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン</p>	<p>■発表・意見交換の様子</p> 	
<p>④ 発表・意見交換 20:10~20:50</p>	<p>○各班毎にグループ作業で出た意見を発表し、意見交換を行った。</p>	<p>■発表・意見交換の様子</p> 	
<p>⑤ その他 20:50~21:00</p>	<p>①神代川かわまちづくり推進協議会のネーミングを決定した。 ②次回ワークショップの開催時期及び内容について説明を行った。</p>	<p>■発表・意見交換の様子</p> 	

■第1回ワークショップ参考資料(班別コメント表)

1班：天真名井周辺整備
■整備計画全体に関する意見 <ul style="list-style-type: none"> ・整備計画全体としては賛成。 ・地元の維持管理体制に関して不安がある。(どこまで地元で対応するのか)
■対象地の整備イメージについて <ul style="list-style-type: none"> ・昔生息していた魚、ホタルが戻ってくる川にしたい。 ・下流(整備区間)と上流(未整備区間)において景観的なギャップが大きい。 ⇒宮尾野橋から河川上流側を見た際に殺風景な風景が残る。 <ul style="list-style-type: none"> ・湿原があって、魚とり・虫とりができるような場所にしたい。(休憩施設等も設置したい。) ・川を回遊(一周)できる散策路を整備したい。 ・上記の整備を行い、かつ生活上安全な川でなければならない。
■対象地の印象について <ul style="list-style-type: none"> ・三面張り水路で、自然な川という感じがしない。
■WSで話し合った整備の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・生き物が多くいる自然の川にしたい。 ・生物が生息できるように1年中ある程度の水量が必要 ⇒水量が一定量確保できなくても生物が生息できる整備 ⇒水量が確保できる体制(用水の利用)
■その他

3班：天真名井周・神々のゾーン
■整備計画全体に関する意見 <ul style="list-style-type: none"> ・水源の確保ができるか。 ・ホタルが生息できる環境を整備したい。 ・災害対策・増水時はどうするのか。 ・散策路のルートは概ね良い。
■対象地の整備イメージについて <ul style="list-style-type: none"> ・道が分かりづらいため案内板だけで十分なのか。 ・道を楽しく歩ける整備の工夫が必要ではないか。
■対象地の印象について <ul style="list-style-type: none"> ・夜間は散策路の中に暗くなる箇所もあるため、対策が必要。 ・駐車スペースがない。
■WSで話し合った整備の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・用途・時間に合わせて利用できる散策路を整備できないか。 ・天真名井にある既存の公園を整備しなおし、駐車スペースを確保できないか。 ・観光客だけでなく地元住民も楽しめるルートづくりをする。 ・増水時は岩戸地区からの用水等を利用して河川の水量を確保できないか。
■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・町道の整備計画も本事業につながる整備計画にしてもらいたい。

2班：皇子橋周辺整備
■整備計画全体に関する意見 <ul style="list-style-type: none"> ・長年の懸案であり、早急に整備が進むことを望む。
■対象地の整備イメージについて <ul style="list-style-type: none"> ・昔はバスセンター付近も映画館・市場等があり賑やかだったが、バス路線縮小に伴い賑わいがなくなった。 ・昔はメダカ等がいて子供たちも川で遊んでいたが、現在はそのような場面が見られなくなった。 ・下水道整備により7・8年前から一部でホタル等が生息するようになってきた。
■対象地の印象について <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まるような施設がなくなり、閑散としている。 ・本事業を通じて、神代川が変化していく様子を子供たちの勉強にも生かせるとよい。
■WSで話し合った整備の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・子供・老人・観光客など多くの人に親しまれるような整備を進めてもらいたい。(川・空き地を利用した公園化) ・周辺観光地へもアクセスできる遊歩道及び駐車場整備。 ・定期的なイベント(朝市等)ができる広場など地元の人も集まるような整備。 ・河川改修前のイメージに戻したい。
■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・高千穂神社やくしふる神社近辺のまちづくりと関連性を持たせることが重要。 ・現在計画されている散策路に加え、神代川(天真名井付近から皇子橋付近)に沿って歩ける散策路を整備したい。

4班：皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン
■整備計画全体に関する意見 <ul style="list-style-type: none"> ・昔の状態そのままへ再生することは難しいが、子供たちが水と親しめる場所にしたい。 ・川沿いを散策できるようにしたい。 ・大木等シンボルになるものは残していきたい。 ・駐車場が少ないので増やしたい。
■対象地の整備イメージについて <ul style="list-style-type: none"> ・道が狭くて救急車が入れないような場所を減らしたい。 ・観光客の方にレンタサイクルをさらに活用してもらいたい。 ・街頭や舗装は高千穂らしいもので統一したい。 ・下水・排水の匂いが気にならないような通りにしたい。 ・歩道を広くしたい。
■対象地の印象について <ul style="list-style-type: none"> ・昔は水があふれていたが、現在は数cmの川となっている。 ・川に藻などが繁茂しているため子供が遊ぶには危険。 ・自転車が走れる道が少ない。 ・公園や休憩施設・トイレが少ない。 ・物産館等が少ない。食事処の場所が分かりづらい。
■WSで話し合った整備の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・観光客がたくさん足を運んでくれる街にしたい。 ・観光客が歩いて観光できる街にしたい(食べ歩きができるようなイメージ)
■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・河川の水量が少ない時期に岩戸地区からの用水を神代川に放流できないか。

■第1回ワークショップに対する検討課題

第1回ワークショップ 検討対応状況一覧表

No.	分類	項目	検討内容	対応方針	WSでの対応
①	整備計画全体	維持管理・利活用	①学校教育での河川整備や散策ルート of 利活用検討 ②地元住民を含めた維持管理体制の検討	①事例調査 ②地元との維持管理、利活用方針移管する協議継続	第4回以降
②	河川整備	水質・水生生物	①整備後の水生生物復活の可能性についての検討	①過去の神代川の水生生物についてのヒアリング ②水質調査の継続 ③水質調査を踏まえた水生生物復活の可能性の検討	第4回以降
③		河川水	①他地区の水脈からの引き込みの検討 ②河川水の回復の検討	①電気探査の実施 ②調査結果を踏まえた河川水回復の検討	第4回以降
④		整備区間	①整備区間の前後について、どこまでを整備区間とするかの検討	①整備区間の再設定	第2回～3回 真名井・皇子橋対応項目 くしふる・バスセンター対応項目
⑤		管理用道路	①天真名井から皇子橋付近へ、川沿いを歩けるような管理用道路の設置検討	②模型での検討と確認	
⑥		河道計画	①新たな河道計画の検討 ②計画した河道の治水面の安全性検討 ③人が集まり、川と触れ合える空間整備検討 ⇒公園化・川に降りる階段設置等	①模型による河道と空間整備検討 ②不等流計算による流下能力の確認	
⑦		誘導案内	①案内板とは別の散策路案内の検討	①舗装の工夫等のハード対策の検証 ②散策マップ、案内ガイド等のソフト対策の検証	
⑧	散策ルート整備	遊歩道整備	①目的に合わせた散策ルート検討 ②散策ルート上での照明設備必要箇所の検討 ③レンタサイクル利用も含めた散策ルート検討	①目的別散策ルートの検討 ②夜間調査の実施 ③照明設備必要箇所の検討	
⑨	市街地整備	利用施設整備	①関連施設周辺や市街地における駐車可能箇所の検討 ②食事や休憩ができる施設の検討	①駐車場、休憩施設の検討	
⑩		町道整備	①街灯や舗装のデザインについて、高千穂らしい物での統一を検討	①事例調査 ②高千穂らしいデザインの検討	
⑪	その他		①現道拡幅 ②下水道整備計画		

【第2回WS・第3回WS 検討内容】

真名井周辺・皇子橋周辺の検討内容

テーマ：大まかな河川形状を考える		
第2回WS	<p>1. 他のゾーンとの連続性はどのように考えるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり計画範囲における対象地の利用目的を想定し、対象地のあり方等を検討する ⇒他の散策ルートとセットで利用など連続性を含めた対象地の整備の方向性等を検討 ・資料は、かわまちづくり計画の全体ゾーニングや各ゾーンの整備方針等（P26～P39）を参考に、対象地全体の整備の方向性等を話し合う 	
	<p>2. 河川形状をどのようにするか</p> <p>①川の流をどうするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事により直線的となった河道をどのように整備するか検討する ⇒旧河道に近づけるなど河道形状の検討を行う。 ・資料は、かわまちづくり計画書の神代川の整備状況（P25）、空中写真や現況模型等を参考に、改修が可能な用地範囲を想定し、大まかな河道形状について話し合う <p>②川幅をどうするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の画一的な川幅について、どのような整備するかを検討する。 ⇒【真名井】パラペットの撤去、拡幅等 【皇子橋】公園化等を考慮した拡幅等 ・資料は、かわまちづくり計画書の整備イメージP34・P38）等を参考にしながら、「検討内容2」の検討結果等も踏まえ、模型を元に大まかな形状を検討する。 <p>③管理用通路はどのように確保するか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川管理に必要な管理用通路の設置方法を検討する。 ・管理用通路は、片側もしくは両側、幅員としては車両通行可能 3～4m、歩行用 2～3mを目安に、最低でも片側に車両通行可能な管理用通路を設置できるよう計画する 	
テーマ：細部のデザインを考える		
第3回WS	<p>3. 人が利用する場所はどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散策・親水など一般利用を目的とした利用場所（河道内・高水敷・天端等）を検討する ・資料は、かわまちづくり計画の全体ゾーニングや各ゾーンの整備方針等（P26～P39）を参考としながら、模型を元に大まかな形状を検討する 	
	<p>4. 川に降りる場所をどうするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親水を目的として川に降りる場所を検討する ・「検討内容5」の検討結果も踏まえ、川に降りる場所について設置の有無、場所、構造（緩傾斜・階段等）を、模型を元に大まかな形状を検討する 	
	<p>5. 水際や護岸はどのようにするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水際や護岸の構造について検討する ・他事例の写真等を参考としながら、場所毎に水際、河床、護岸構造（自然石・化粧ブロック等）をどのように整備するか検討する 	
	<p>6. 利用施設はどのようにするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般利用に対し、利用施設（植栽・案内板・休憩施設等）の配置等を検討する ⇒【植栽】樹種選定、配置計画 ⇒【案内板・休憩施設】デザイン・構造（間伐材利用等）検討、配置計画 	

くしふる周辺・バスセンター周辺の検討内容

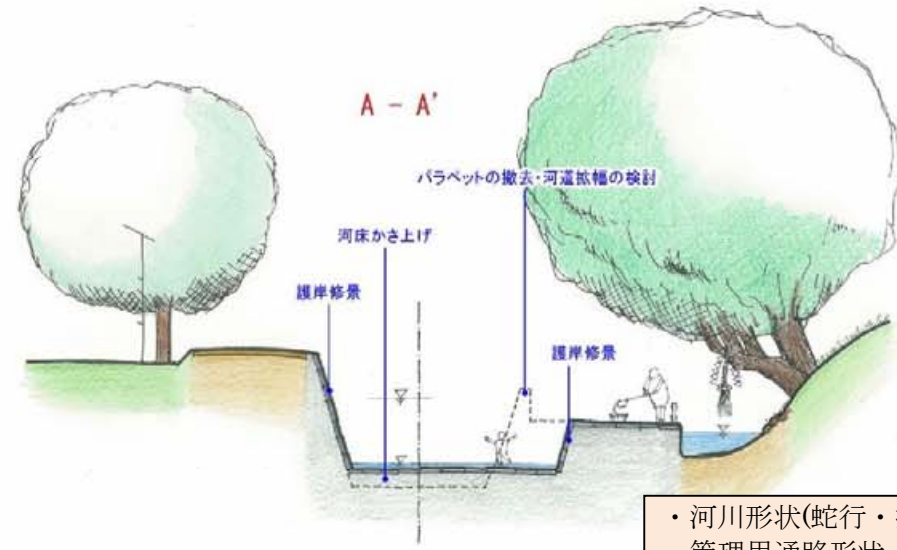
テーマ：ルート整備方針・課題と大まかなデザインを考える		
第2回WS	<p>1. 他のゾーンとの連続性はどのように考えるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり計画範囲における対象地の利用目的を想定し、対象地のあり方等を検討する ⇒他の散策ルートとセットで利用など連続性を含めた対象地の整備の方向性等を検討 ・資料は、かわまちづくり計画の全体ゾーニングや各ゾーンの整備方針等（P26～P39）を参考に、対象地全体の整備の方向性等を話し合う 	
	<p>2. ルート整備の課題と大まかなデザイン</p> <p>①ルート上に他に拠点となる場所はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画案に示されている以外の拠点施設の有無等を確認する ・資料は、かわまちづくり計画の各ゾーンの整備方針等（P32～P39）や、全体地形模型、空中写真等を参考に、拠点施設のもれ、新たな眺望スポットの有無等について話し合う <p>②ルート設定はどのように考えるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ゾーンについて、ゾーン単独での周遊ルート、他のゾーンとの連続性を考慮した周遊ルートについて検討する ・資料は、かわまちづくり計画の全体ゾーニングや各ゾーンの整備方針等（P26～P39）を参考に、対象地をどのように利用してもらうかを想定しながらコース設定を行う <p>③ルート整備に問題はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルート設定の検討結果を踏まえ、検討ルートの課題・問題点等を検討する ⇒散策ルート変更・舗装整備・サイン等の必要性 ・資料は、かわまちづくり計画の各ゾーンの整備方針等（P32～P39）や現地写真、空中写真等を参考に、ルートの不足、歩きやすさ等の課題点について話し合い、舗装や階段、ルート変更、サインの必要性について検討する。 	
	テーマ：細部のデザインを考える	
第3回WS	<p>3. ゾーンを結ぶ幹線道路に整備の必要性はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くしふる周辺とバスセンター周辺を結ぶ町道整備における舗装・サイン等について検討する。 ・「検討内容3」の結果を踏まえた町道から周遊ルートへの誘導や、ゾーンを接続する幹線道路として歩道および車道の舗装、照明灯の整備の必要性について検討する。 	
	<p>4. 各拠点について整備の必要性はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルート上の拠点における休憩施設・駐車場等の整備の必要性を検討する ・資料は、個別の拠点施設の写真等を参考として、現状のままでよいか、何らか手を加える等の整備が必要か等を検討する 	
	<p>5. 個別の施設計画はどのようにするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別施設のデザインや構造について検討する ・他事例の写真等を参考としながら、施設別にどのようなデザイン、構造とするかを検討する 	
	<p>6. 観光施設としてPRをどのようにするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進に向けたPR方法について検討する ・PR方法については、整備中、整備後のPR方法に分類し、また、地元が出来ること、行政が行うべきことに分けて、かわまちづくり計画全体を見据えたPRのあり方を検討する 	

■グループ作業

1. 天真名井周辺

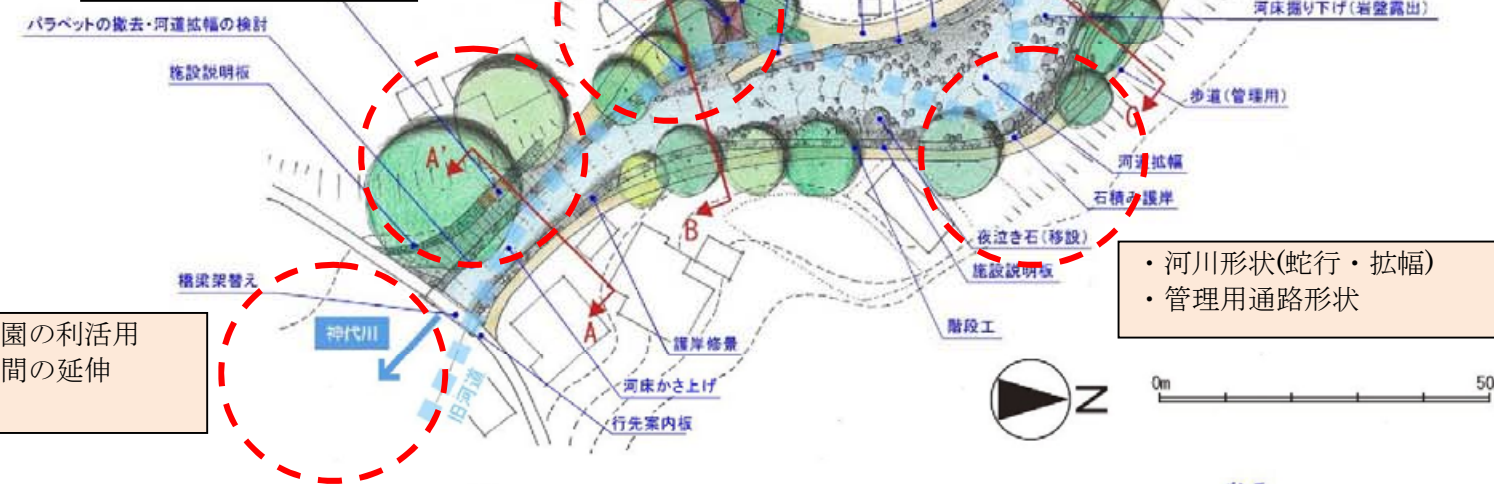
天真名井周辺(1班)	
1. 他のゾーンとの連続性をどのように考えるか？	2. 河川形状をどうするか？ → 具体的に模型を使って検討
<p>1) ゾーン連携について → 対象地の位置づけを意識</p> <ol style="list-style-type: none"> 広域の観光施設との連携を意識した(高千穂神社・高千穂峡を含む)整備 かわまちづくり計画全体を意識した(他のゾーンを含む)整備 近傍の観光施設と連携した(くしふる神社・荒立神社)整備 親水空間として、皇子橋周辺との連携を意識した整備 天真名井を中心とした整備 その他 <div style="text-align: center;"> <p>広域の観光施設 (高千穂神社、高千穂峡等)</p> <p>近傍の観光施設 (くしふる神社、荒立神社等)</p> <p>天真名井</p> <p>皇子橋</p> <p>近傍の拠点施設 (バスセンター、観光案内所等)</p> </div> <p>2) 当ゾーンの整備方針について → 必要と考えられる整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 他のゾーン等との連携の中継点として、駐車場や各拠点施設への案内板の整備を行なう 観光客が歴史や文化を学ぶための場所として、歴史施設の説明板や案内板の整備を行なう 神秘的な雰囲気を出すために、あまり手を加えず河川形状等を自然に近い形に近づける整備を行なう 憩いの場として四阿やベンチ、トイレ等の休憩施設や公園の整備を行なう ウォーキングや散歩、散策を中心に、日常的な利用を目的とした遊歩道整備を行なう 定期的なイベントや行事の開催等に対応した広場の整備を行なう その他 	<p>1) 川の流れをどうするか？</p> <p>① 川を蛇行させる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ※大きく蛇行させると外側の水位が上昇する ※蛇行した外側は浸食されやすい ※蛇行した内側は土砂がたまりやすい <p>2) 川幅をどうするか？</p> <p>① パラペット撤去の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> ※パラペットを撤去すると天真名井が水に浸かりやすくなる <p>② 河川拡幅・河床の底上げの場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ※河床を上げる場合は川幅を広げる必要がある ※川岸に凹凸を設ける場合は川幅を広げる必要がある <p>3) 管理用通路をどうするか？</p> <p>① 管理用通路設置位置(両側・片側)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※河川管理上、最低でも片側に管理用通路が必要 ※管理用通路は散策路としても利用可能 <p>② 管理用通路幅</p> <ul style="list-style-type: none"> ※車両用通行幅：3m～4m ※歩行者通行幅：2m～3m

■天真名井周辺の整備イメージ



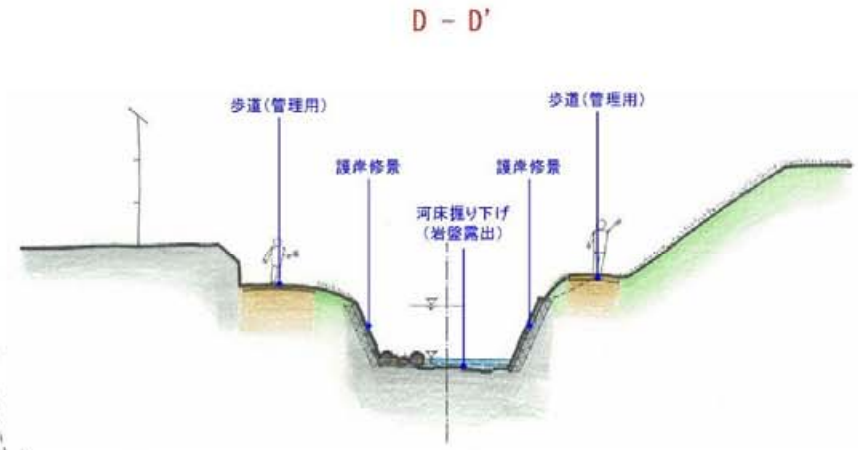
・河川形状(蛇行・拡幅)
・管理用通路形状

天真名井の整備方法



・既設公園の利活用
・整備区間の延伸

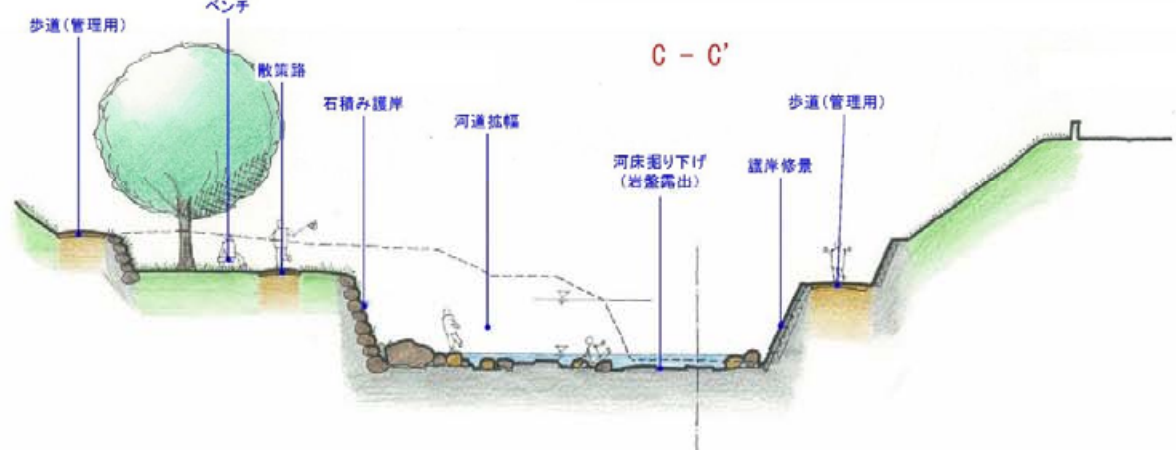
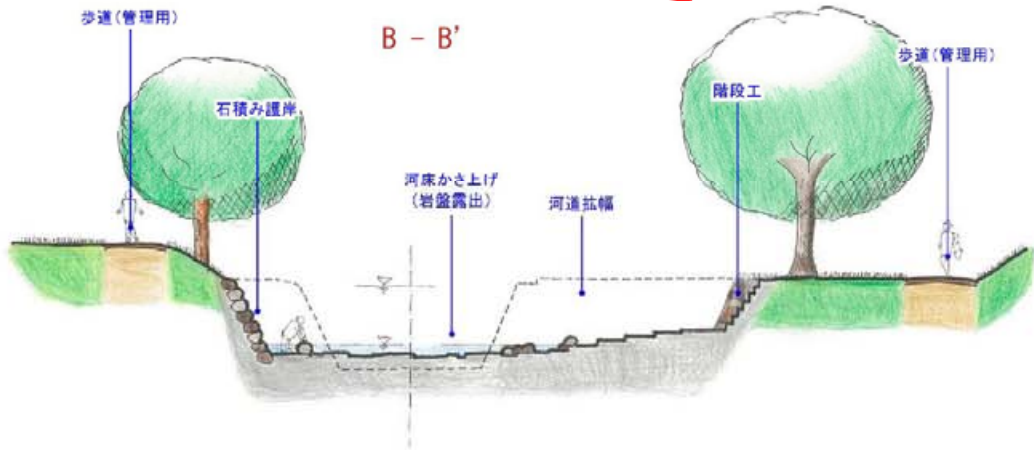
・河川形状(蛇行・拡幅)
・管理用通路形状



【整備イメージ】
ニニギノ命が高千穂のくしふる峯に天孫降臨した際この地に良い水が無かったため、アメノムラクモノ命に命じ再度高天原に上らせ、アマテラス大神から三つの「水の種」をもらい、そのうち一つを神代川のように置いた
天真名井の水は、天照大神が高天原の天真名井から「水の種」として下された尊い水であり日本最初の水神様である
天真名井周辺では、水の神聖なかと、水の種にまつわる神話を伝える

【施設別整備箇所数】

・ベンチ	: 4箇所
・四阿	: 1箇所
・行先案内板	: 2箇所
・施設説明板	: 2箇所
・石積み護岸	: 2箇所 (376m)
・スロープ	: 1箇所
・歩道整備(管理用)	: 2箇所 (370m)
・歩道整備(散策路)	: 1箇所 (70m)
・橋梁架替え	: 1基
・河川改修	: 1式 (186m)
・階段工	: 4箇所



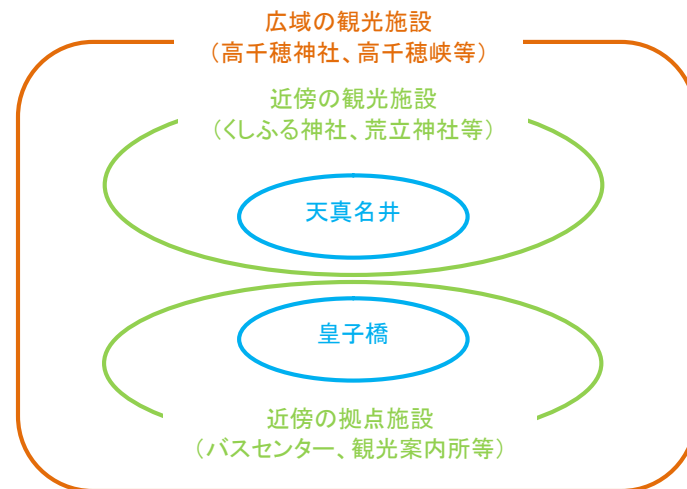
2. 皇子橋周辺

皇子橋周辺(2班)

1. 他のゾーンとの連続性をどのように考えるか？

1) ゾーン連携について → 対象地の位置づけを意識

1. 広域の観光施設との連携を意識した（高千穂神社・高千穂峡を含む）整備
2. かわまちづくり計画全体を意識した（他のゾーンを含む）整備
3. 近傍の観光施設と連携した（くしふる神社・荒立神社）整備
4. 親水空間として、天真名井周辺との連携を意識した整備
5. 皇子橋を中心とした整備
6. その他



2) 当ゾーンの整備方針について → 必要と考えられる整備内容

1. 他ゾーンとの連携の中継点として、駐車場や各拠点施設への案内板の整備を行なう
2. 観光客が歴史や文化を学ぶための場所として、歴史施設の説明板や案内板の整備を行なう
3. 神秘的な雰囲気を出すために、あまり手を加えず河川形状等を自然に近い形に近づける整備を行なう
4. 憩いの場として四阿やベンチ、トイレ等の休憩施設や公園の整備を行なう
5. ウォーキングや散歩、散策を中心に、日常的な利用を目的とした遊歩道整備を行なう
6. 定期的なイベントや行事の開催等に対応した広場の整備を行なう
7. その他

2. 河川形状をどうするか？ → 具体的に模型を使って検討

1) 川の流れをどうするか？

- ① 川を蛇行させる場所
 - ※大きく蛇行させると外側の水位が上昇する
 - ※蛇行した外側は浸食されやすい
 - ※蛇行した内側は土砂がたまりやすい

2) 川幅をどうするか？

- ① 公園化を考慮した河川拡幅
 - ※河床を上げる場合は川幅を広げる必要がある
 - ※川岸に凹凸を設ける場合は川幅を広げる必要がある

3) 管理用通路をどうするか？

- ① 管理用通路設置位置(両側・片側)
 - ※河川管理上、最低でも片側に管理用通路が必要
 - ※管理用通路は散策路としても利用可能
- ② 管理用通路幅
 - ※車両用通行幅：3m～4m
 - ※歩行者通行幅：2m～3m

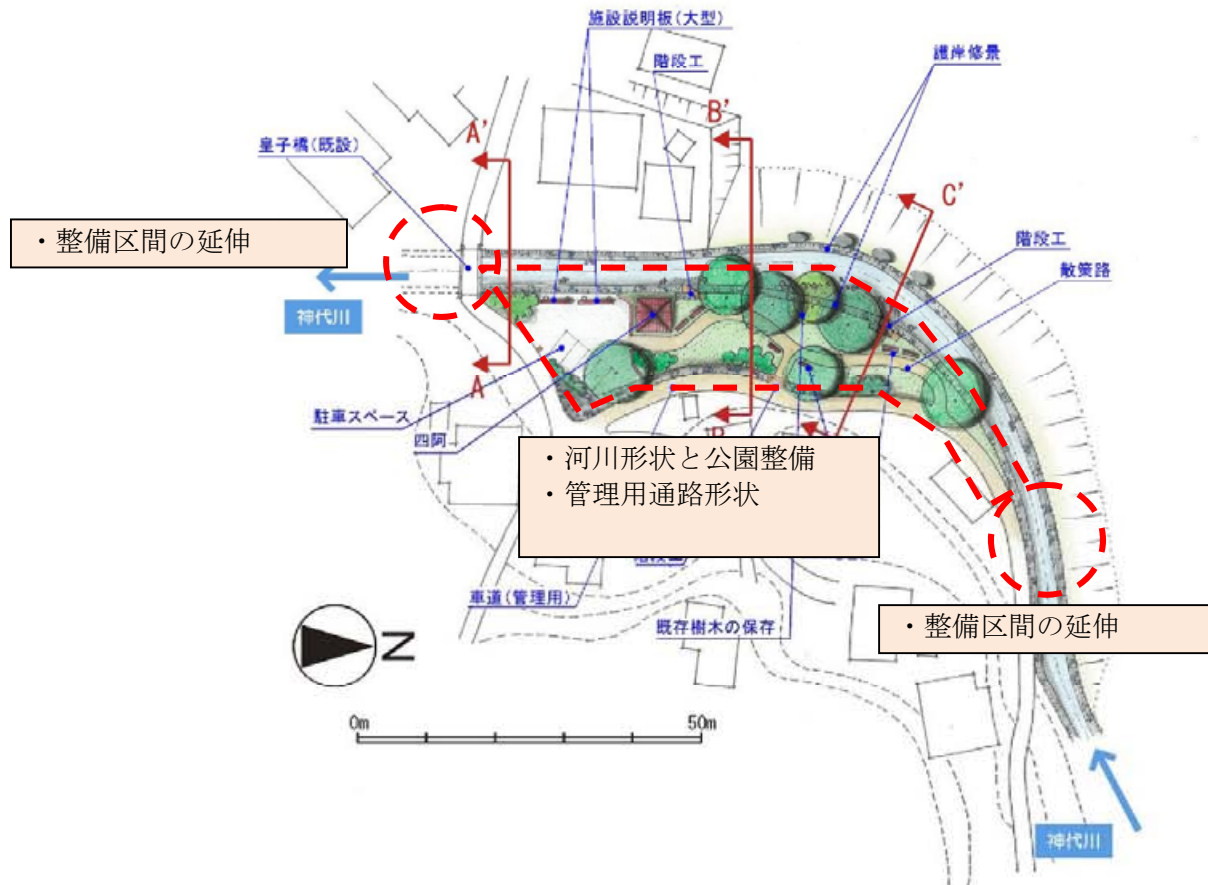
■皇子橋周辺の整備イメージ

【整備イメージ】

天孫降臨したニニギノ命から、ホオリノ命、ウガヤフキアエズノ命までを日向三代という。

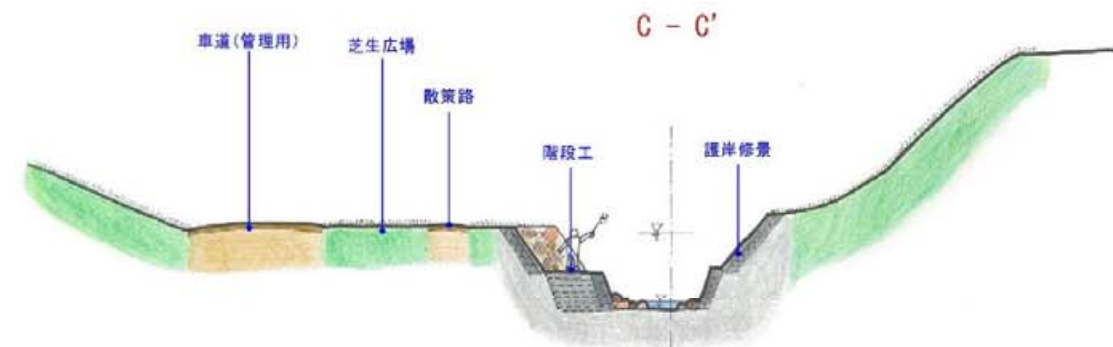
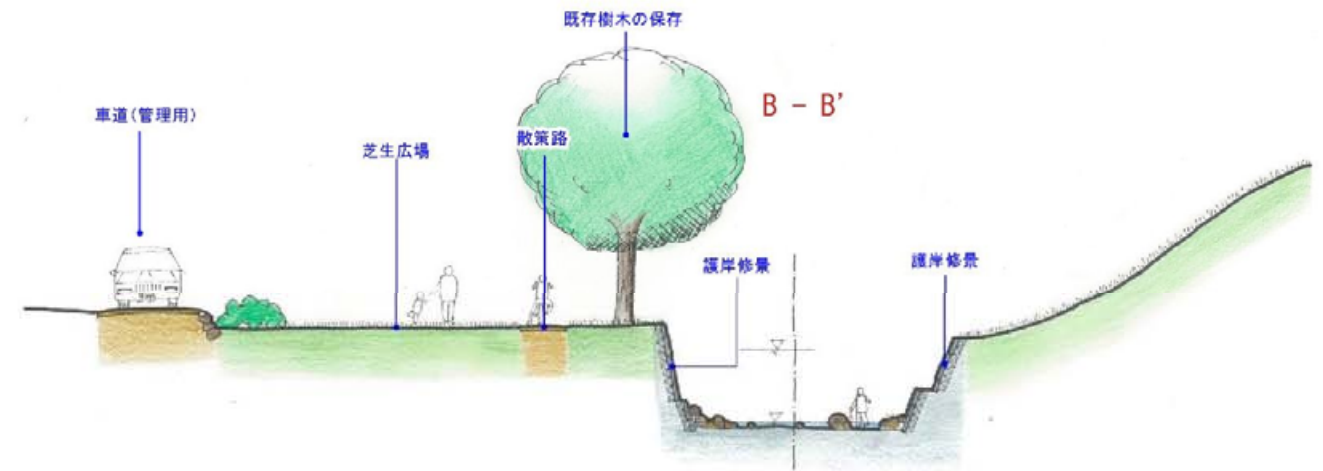
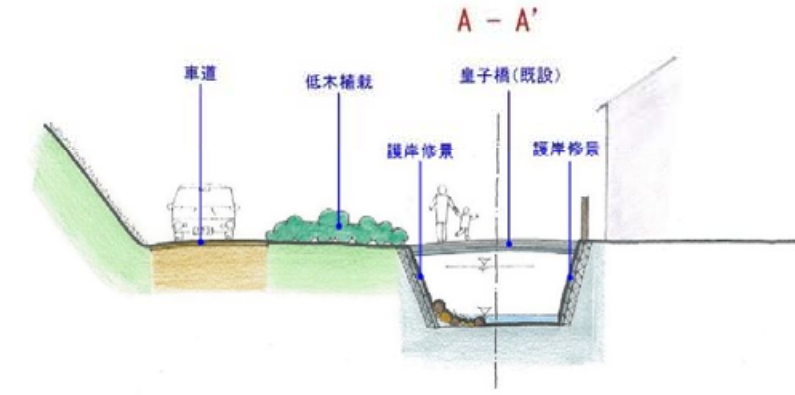
ウガヤフキアエズノ命とタマヨリビメからは4人の御子（四皇子）が生まれ、日向国の高千穂で暮らす。四皇子は天下を治めるために東征に旅立ち、後に四皇子の一人、イハレビコノ命が初代・神武天皇となる。

皇子橋周辺では、四皇子がこの地に暮らし神武東征に向かうまでの神話等を伝える



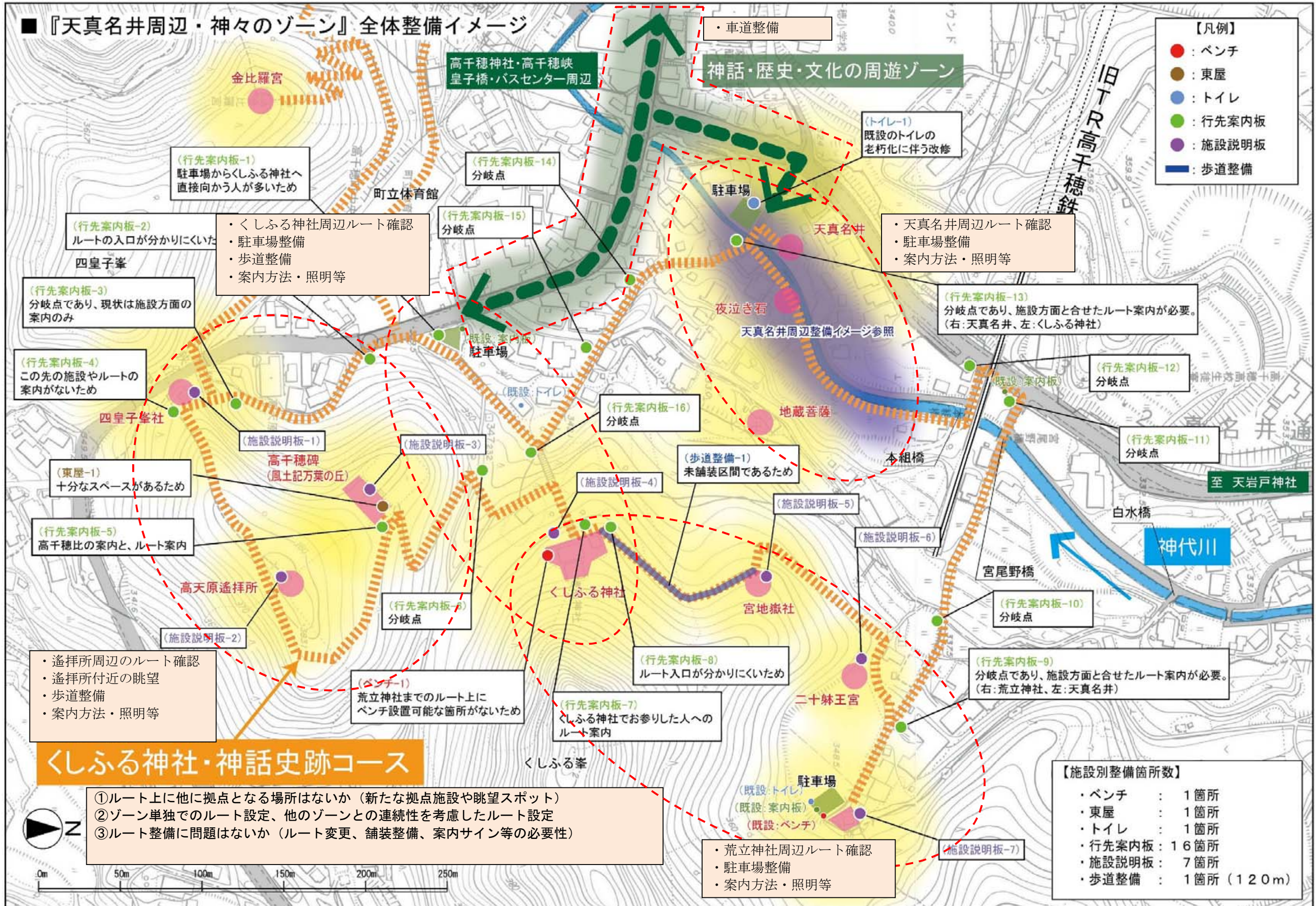
【施設別整備箇所数】

・ベンチ	：	6箇所
・四阿	：	1箇所
・施設説明板	：	1箇所
・階段工	：	1箇所
・石積み擁壁	：	1箇所 (40m)
・駐車スペース	：	1箇所 (130㎡)
・歩道整備 (散策路)	：	1箇所 (70m)
・車道整備 (管理用)	：	1箇所 (70m)
・河川改修	：	1式 (135m)
・階段工	：	2箇所



3. くしふる神社周辺

くしふる周辺(3班)	
1. 他のゾーンとの連続性をどのように考えるか?	2. ルート整備の課題と大まかなデザイン → 全体地形模型や空中写真を使って検討
<p>1) ゾーン連携について → 対象地の位置づけを意識</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広域の観光施設との連携を意識した(高千穂神社・高千穂峡を含む)整備 2. かわまちづくり計画全体を意識した(他のゾーンを含む)整備 3. 近傍の観光施設と連携した(バスセンター観光案内所)整備 4. 近傍の親水地域である、天真名井周辺との連携を意識した整備 5. くしふる神社周辺の観光施設や散策ルートを中心とした整備 6. その他 <div style="text-align: center;"> </div> <p>2) 当ゾーンの整備方針について → 必要と考えられる整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 他ゾーンとの連携の中継点として、駐車場や各拠点施設への案内板の整備を行なう 2. 観光客が歴史や文化を学ぶための場所として、歴史施設の説明板や案内板の整備を行なう 3. 神秘的な雰囲気を出すために、あまり手を加えないような整備を行なう 4. 憩いの場として四阿やベンチ、トイレ等の休憩施設や公園の整備を行なう 5. ウォーキングや散歩・散策を中心に、日常的な利用を目的とした遊歩道整備を行なう 6. 定期的なイベントや行事の開催等に対応した広場の整備を行なう 7. その他 	<p>1) ルート上に他に拠点となる場所はないか?</p> <p>①他の拠点(新たな拠点) ※整備イメージに記された拠点以外のものがないか?</p> <p>2) ルート設定はどのように考えるか?</p> <p>①くしふる周辺の周遊ルートについて考える。 ※くしふる神社に正面からのアプローチできるルートのあり方は?</p> <p>②バスセンター周辺の周遊ルートとの一体にして考える。 ※他のゾーンとの結節点は?</p> <p>3) ルート整備に問題はないか?</p> <p>①散策ルートの変更 ※バイパスルートやもっと魅力のある動線はないか?</p> <p>②車道・歩道の舗装整備箇所 ※歩きやすさか自然なイメージか?</p> <p>③案内板やその他のサイン、休憩施設の必要箇所 ※利用者に不便はないか?</p>



4. バスセンター周辺

バスセンター周辺(4班)	
1. 他のゾーンとの連続性をどのように考えるか？	2. ルート整備の課題と大まかなデザイン → 全体地形模型や空中写真を使って検討
<p>1) ゾーン連携について → 対象地の位置づけを意識</p> <ol style="list-style-type: none"> 広域の観光施設との連携を意識した(高千穂神社・高千穂峡を含む)整備 かわまちづくり計画全体を意識した(他のゾーンを含む)整備 近傍の観光施設と連携した(くしふる神社・荒立神社)整備 近傍の親水地域である、皇子橋周辺との連携を意識した整備 バスセンターや観光案内所等の拠点施設を中心とした整備 その他 <div style="text-align: center;"> </div> <p>2) 当ゾーンの整備方針について → 必要と考えられる整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 他ゾーンとの連携の中継点として、駐車場や各拠点施設への案内板の整備を行なう 観光客が歴史や文化を学ぶための場所として、歴史施設の説明板や案内板の整備を行なう 神秘的な雰囲気を出すために、あまり手を加えないような整備を行なう 憩いの場として四阿やベンチ、トイレ等の休憩施設や公園の整備を行なう ウォーキングや散歩・散策を中心に、日常的な利用を目的とした遊歩道整備を行なう 定期的なイベントや行事の開催等に対応した広場の整備を行なう その他 	<p>1) ルート上に他に拠点となる場所はないか？</p> <p>①他の拠点(新たな拠点) ※整備イメージに記された拠点以外のものがないか？</p> <p>2) ルート設定はどのように考えるか？</p> <p>①バスセンター周辺の単独の周遊ルートについて考える。 ※中心市街地・交通拠点であることを考慮したルートとは？</p> <p>②くしふる周辺の周遊ルートとの一体にして考える。 ※他のゾーンとの結節点は？</p> <p>3) ルート整備に問題はないか？</p> <p>①散策ルートの変更 ※バイパスルートやもっと魅力のある動線はないか？</p> <p>②車道・歩道の舗装整備箇所 ※金比羅宮へ→歩きやすさか自然なイメージか？ ※県道沿い→高千穂町のメインストリートであることを考慮したルートのあり方を考える</p> <p>③案内板やその他のサインの必要箇所 ※利用者に不便はないか？</p>

